

**令和7年度サステナブルな消費行動を促す循環価値のプロモーターと伝達手法に関する調査
(大阪・関西万博を通じた消費者への循環価値訴求のための実証研究)
に係る資料提供依頼・意見募集について**

令和7年3月18日

概要

令和7年度サステナブルな消費行動を促す循環価値のプロモーターと伝達手法に関する調査

(大阪・関西万博を通じた消費者への循環価値訴求のための実証研究)の実施に向けた検討に当たり、実施方法や本事業を実施する上で必要な費用の概算について、広く情報提供を依頼します。

事業内容

下記仕様書(案)のとおり

資料提供依頼・意見募集期間

令和7年3月18日(火)～令和7年3月28日(金)

資料提供依頼・意見募集内容

事業内容に関連し、以下のような情報について資料の提供をお願いいたします。具体的な実施内容のイメージに関しては、次ページ以降のとおり。

- (1) 下記仕様書(案)中 ①具体的な「循環価値のプロモーター(※)」の提案ならびに②サーキュラエコノミーの社会実装に向けて消費者を見据えた価値の効果的な伝達手法に関する提案
※循環価値のプロモーター…製品・サービスの作り手と消費者の間に介在し、サステナブルな消費・共感を促す存在。
例：小売・量販店、広告代理店、専門メディア、プロモーションプラットフォーム企業等
- (2) 事業の実施のための人員体制
- (3) 事業実施に要する費用の参考見積

その他

- ・本件により、実際の調達等参加時の評価等に影響を与えることはありません。
- ・資料提供に係る一切の費用は、すべて参加者の負担とします。
- ・提出された資料等は、本件事業の調達等に係る検討にのみ使用します(提出された資料等は返却しません)。なお、必要に応じて追加資料の提供を求めることがあります。
- ・提出されたご意見・資料等は、当局が内容を確認します。それ以外の第三者に無断で資料等を開示することはありません。なお、ご意見・資料等に対する回答を行うことはございません。
- ・本件にて当局との間で共有する全ての情報について、開示、漏洩、または本依頼以外の目的による使用は禁止します。

提出先、お問合せ先

〒540-8535 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課

担当：福永、安江、石場、西牧

電話：06-6966-6018

E-MAIL：bzl-kin-kankyo@meti.go.jp

仕様書（案）

1. 件名

令和7年度サステナブルな消費行動を促す循環価値のプロモーターと伝達手法に関する調査
(大阪・関西万博を通じた消費者への循環価値訴求のための実証研究)

2. 事業の背景・目的

【背景】

近年、将来的な資源制約や環境問題等を背景に、大量生産、大量消費、大量廃棄の「線形経済」から「サーキュラーエコノミー」への移行が喫緊の課題。

経済産業省では、産業を循環性の高いビジネスモデルに転換させるため、2023年3月に「成長志向型の資源自律経済戦略」を策定。今後、資源循環経済政策について、経済成長の新たなエンジンとするため、産業政策、脱炭素、経済安全保障の文脈からさらなる拡充や加速化を図ることが急務である。また、「GX2040ビジョン」ならびに産構審資源循環経済小委員会「成長志向型の資源自律経済戦略の実現に向けた制度見直しに関する取りまとめ」では、①製品メーカーによる調達のみならず、消費者の行動変容を促す仕組みも一体的に進める必要、②サーキュラーエコノミーに配慮した製品が消費者から評価されて売上につながるような環境をつくるためには、生活者としての主体的な行動を引き出していくことが不可欠、と示唆。

令和6年度に、当局において実施したサステナブル製品における価値の作り手(Rethink Designer)に対する調査では、当該製品が正当な価格で売れるためには、①消費者（循環価値の受け手）への動機づけ、行動変容の実現といったサプライチェーン全体での価値の創造が鍵となる、②小売店・量販店など消費者と直接接点を持つ存在の意識が変わり商品として採用しなければ、消費者のもとに価値として届かないといった指摘があった。

このように、製品やサービスの販促活動において、作り手と消費者の間でサステナブルな消費・共感を促すと期待される存在「循環価値のプロモーター(※1)」を意識した価値づくりと彼らのノウハウを取り入れた価値の伝達方法(※2)の磨き上げが、サステナブルな消費行動を引き出すうえでの今後の課題として窺えた。

<参考>近畿経済産業局 サーキュラーエコノミー実現に向けた取組 Rethink Design プロジェクト

[Rethink Design プロジェクト～視点を変えれば、価値がめぐる～（近畿経済産業局）](#)

※1 小売店・量販店、広告代理店、専門メディア、プロモーションプラットフォーム（クラウドファンディング等）などを想定。

※2 伝達の強化、伝達先の変更、演出による伝達、教育による伝達など、消費者の考え方や行動に変化をもたらす可能性のあるプロモーションの検討

【調査目的】

本調査では、循環価値の伝達に着目し、より多くの消費者が循環価値を享受するためには、消費者に対しサステナブルな消費・共感を促す「循環価値のプロモーター」と価値の作り手との有機的な連携が鍵になるのではないかという仮説のもと、プロモーターと作り手に対しアプローチを図る。

資源循環に関する消費者の意識・行動変容に向けて、「循環価値のプロモーター」における取組の実態把握を行い、サステナブルな消費行動を促す指標や手法について整理する。加えて、作り手と消費者とのタッチポイントを大阪・関西万博会場内で実証的に創出し、消費者の反応から思考・行動変容が生まれる変化について考察する。調査結果を踏まえ、価値の伝達方法を磨きあげるための手法を明らかにするとともに、「循環価値のプロモーター」と価値の作り手が連携することで、資源循環市場の創出・拡大につなげることを目的とする。

3. 事業内容及び実施方法

上記目的を達成するため、①循環価値のプロモーターに関する実態調査、②価値の作り手による循環価値のプロモーション（万博会場内イベント）実証調査、③循環価値の作り手とプロモーターとの連携促進を図る取組を実施する。成果物として、①～③の調査で得た気づきや提言をまとめたPR冊子を作成する

①循環価値のプロモーターに関する実態調査

（1）文献調査

主に国内でのサステナブル消費・マーケティングにおける最近の動向、ターゲット（消費者の属性）、実績、効果に関する既往の文献調査（インターネット調査）を20件程度実施。

（2）ヒアリング調査

「循環価値のプロモーター」と想定する小売店・量販店、広告代理店、専門メディア、プロモーションプラットフォーム（クラウドファンディング運営事業者等）に関するトップランナー企業等へのヒアリングを実施し、サステナブル消費に対する問題意識や成功事例とその要因に関する深掘り調査（10件程度）を実施。

（3）現状分析及び課題整理

（2）を踏まえ、特定の製品・商材における消費者の意識および行動変容を促すために必要な要素を抽出するとともに、行動変容を促すうえでの課題整理を行う。

（4）課題解決に向けた方針案

サステナブルな消費行動を促す指標や伝達手法について考察

②循環価値の作り手によるプロモーション（万博会場内イベント）に関する実証調査

（1）研究会の開催

万博会場での実証を見据え、価値の作り手（Rethink Designer）による、消費者の循環価値に関する思考・行動変容に訴求するコンテンツを制作検討する研究会を開催。

【研究会詳細・留意事項】

■実施体制(案)

ファシリテーター：サーキュラーエコノミーの分野において、新たな企業連携体およびコミュニティの形成・運営に知見のある企業等管理職クラス 全体ファシリテーター含め最大6名程度

参加者：関西を中心にサーキュラーエコノミーを実践する事業者（Rethink Designer）を想定

[Rethink Design プロジェクト～視点を変えれば、価値がめぐる～（近畿経済産業局）](#)

■実施回数：2回程度

■開催時間：平日の午後 休憩時間を除き4時間程度

■開催時期：契約締結後～令和7年9月下旬

■謝礼等：ファシリテーターには謝金及び旅費を支払うこと。

※研究会実施にあたり、ファシリテーターとは進め方に関する事前調整等を行う。

■開催場所：大阪市内（50名程度収容できる会場を想定）

■留意事項：

・制作にあたっては、サーキュラーエコノミーおよび資源循環の促進に資するレガシーとなるよう、子供から大人まで幅広い年齢層を対象としたものを想定し、視覚的に理解しやすいデザインも検討すること。

・実際のものに触れるなど体験型の展示・イベントの視点も勘案しながら、消費者の反応が抽出しやすいコンテンツを検討すること。

・公表するコンテンツに関しては、万博会場内での実証のみならず、「循環価値プロモーター」等とも連携のうえ、広く周知し、消費者の反応を抽出することを想定している。

(2) 万博会場内での実証調査 (9月24日 午後)

(1) 研究会を踏まえ、万博会場内でのイベントにおいて、資源循環に係る消費者の思考・行動変容に向けた実証調査。来場者に対して実証イベントに関するアンケートを実施し、集計する。

なお、アンケート案の策定にあたっては、イベント評価に加え、サステナブルな製品に対する来場者の評価が確認できるような設問の設計を工夫すること。設問に関しては、(1)研究会でも協議のうえ検討すること。

※経済産業省では、EXP02025 大阪・関西万博テーマウィーク「地球の未来と生物多様性ウィーク」(9/17～9/28)にて、サーキュラーエコノミー(資源循環)をテーマにした来場者参加型の企画や展示、実証等を実施予定であり、その1要素として、上述の(1)研究会での活動を発信する。

③循環価値の作り手とプロモーターとの連携促進

①、②を受けて、プロモーターと作り手とが一堂に会し、社会実装に向けての消費者への循環価値伝達手法に関する意見交換会(1回)を実施するとともに、提言を取りまとめて、全国のプロモーター等へ周知。

④ PR 冊子の作成

①～③のポイントをまとめるとともに、調査結果を踏まえ、サーキュラーエコノミーの社会実装に向けて「循環価値のプロモーター」と価値の作り手との連携により、消費者に対する効果的な訴求方法やビジネスの発展可能性を考察した冊子を作成する。

※冊子自体は無線綴冊子(A5 フルカラー 300部、40～50ページ程度)とする。

4. 実施期間

委託契約締結日から令和8年3月19日(木)まで